

平成30年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

事業名	消防団員福利厚生施設利用助成金				
担当課	消防課		課長名	中島 孝祥	
事業の目的と実施内容					
目的	福利厚生事業として、消防団員等に対し宿泊施設の利用助成を行うもの。				
内容・方法	愛川町消防団に所属する消防団員及びその家族(消防団員の配偶者、子、孫、父母及び祖父母等に対し、宿泊施設「湯河原温泉ちとせ」の利用助成を行うもの。 【助成額】 宿泊 1泊2食または1泊夕食 5,000円 休憩 日帰り休憩 1,500円 1泊朝食 4,000円 素泊り 3,000円				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善	一次	改善	二次	再構築
今後の方向性に係る意見等(最終)			評価結果を踏まえた所管課の対応案		
消防団員全員が公平に福利厚生を受けられるよう、宿泊所メニューを多様化させるなど、消防団員のニーズに見合った改革が必要であるため、再構築とする。			消防団員全員が公平に福利厚生を受けられるようなメニューに移行できるよう、アンケート調査を行ったうえで、新規事業が開始されるよう検討を行うものとする。		
町の最終方針					
再構築	所管課の方向性のとおり、消防団員全員が公平に福利厚生を受けられるようなメニューを構築できるよう、アンケート調査を行ったうえで、新規事業について検討を行うものとする。				
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名		時期(期限)	具体的な改善等の内容		
アンケート調査		H31.7～H31.9	消防団員を対象にアンケート調査を実施。		
検討		H31.9～H31.11	アンケート調査を基に内部で検討を行う。		
新規事業		H32.4	全団員が公平に福利厚生を受けられる事業とする。		
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一		単位	基準年度 (H29)	H30	H31
制度利用者の数		人	30	30	30
目標とする成果の設定理由		事業の変更を平成32年度に設定しているため。(平成32年度は231人)			
4 経費等の見込み					
			H30(決算見込)	H31	H32
事業費(予算) 単位:千円			105	150	未定
概算職員数 単位:人			0.012	0.012	未定

5 改善等工程表																										
項目名 (2 町の最終方針を実施するための具体的な方法と一致)		平成30年度				平成31年度												平成32年度								
	工程名	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
・アンケート調査																										
・検討																										
・新規事業																										

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]